

## 第2学年 算数科学習指導案

### 1 単元 ひき算「ひき算のしかたをくふうしよう」

#### 2 指導観

- 本学級の子ども達は、第1学年の減法の学習において、用いられる場面や意味を理解し、減数が1位数の繰り下がりのある減法や簡単な場合の2位数の減法ができるようになっている。しかし、10の合成・分解のつまずきから、繰り下がりのある減法を正確に計算できない児童もいる。そこで、1位数の計算方法をもとにして計算の仕方を考え出したり、工夫したりできるようになるこの期に、本単元を取り上げる。そして、2位数の減法の計算の仕方を図や式を使って考え、筆算を用いて確実に計算をしたり説明をしたりすることができるようにする。このことは、学習過程に話す活動を位置付けながら学習内容を確実に習得し、理解を深めるために思考力・判断力・表現力を発揮し、主体的に学習に取り組み、「わかる・できる」子どもを育てる上で意義深い。
- 本単元では、2位数の減法が用いられる場面についての理解を深め、減法の計算の仕方を考え、筆算の形式が分かり、これを適切に用いることができるようにすることをねらいとしている。そのために、筆算の仕方は、既習の1位数どうしの計算によって位ごとに差を求め、それができないときは、すぐ上の位から1繰り下げて計算すればよいことを理解させる。この計算方法は、十進位取り記数法に基づく計算であり、以降の乗法や除法の計算の原理にもなるので丁寧に指導する。また、減法の計算の確かめに用いることができるように、加法と減法の相互関係を扱う。このことにより、より正しく計算処理ができるようにする。この学習は、3位数－1・2位数の減法の計算の学習へと展開していく。
- 本単元の指導にあたっては、まず、繰り下がりのない2位数－1・2位数の計算の仕方を理解させ、筆算で計算できるようにする。次に、繰り下がりのある2位数－1・2位数の計算の仕方を理解させ、説明することができるようにするとともに、筆算で計算できるようにする。さらに、加法と減法の相互関係を理解させ、減法の答えの確かめができるようにし、適応・補充問題に取り組みさせ、問われていることを明らかにしながら、筆算によって正しく計算できるようにする。  
尚、本時指導にあたっては、ひき算の答えにひく数をたすとひかれる数になることを理解し、ひき算の答えの確かめをすることができるようにする。その際、ひく数、答え、ひかれる数の言葉に抵抗があり、それにあたる数を捉えることができない児童がいることが予想される。そのために、知る段階で色カードや線を使い、関係性を視覚的に捉えやすくする。また、できる段階では、筆算形式でひき算の答えを求め、その答えを基に、答えの確かめになるたし算カードを見つけて問題に取り組みさせ、加法と減法の相互関係についての理解を深めさせる。

#### 3 目標

- 2位数の減法の計算や筆算の仕方、加法と減法の相互関係を理解したり、筆算を使って正しく計算したりすることができる。 【知識及び技能】
- 2位数の減法の計算の仕方を、十進位取り記数法の仕組みを基に考え、言葉、数、式、図を用いて説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- 2位数の減法の計算の仕方を考えたり、生活や学習に進んで活用したりしようとする態度を育てる。 【学びに向かう力】

#### 4 本単元の学習活動（9時間）

- 1 繰り下がりのない2位数－2位数の計算の仕方を考え、まとめる。 \_\_\_\_\_ 2
- 2 繰り下がりのない2位数－1・2位数の筆算の仕方をまとめ、正しく計算する。 \_\_\_\_\_ 2
- 3 繰り下がりのある2位数－2位数の計算の仕方を考え、まとめる。 \_\_\_\_\_ 1
- 4 繰り下がりのある2位数－1・2位数の筆算の仕方をまとめ、正しく計算する。 \_\_\_\_\_ 2
- 5 減法の答えの確かめ方や、加法と減法の相互関係を考える。 \_\_\_\_\_ 1（本時）
- 6 学習のまとめとなる問題や活用問題に取り組み、理解を深める。 \_\_\_\_\_ 1

5 主眼

ひき算の答えにひく数をたすとひかれる数になることが分かり、ひき算の答えの確かめをすることができる。

6 本時の学習活動（8／9）

段階	学 習 活 動	具体的な手立て ※評価
知る (説明)	<p>1 予習から、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ひき算の答えにひく数をたすとどんな数になるかな。</div> <p>○ 予習の内容を確認し、答え、ひく数、ひかれる数の関係を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(式) <math>43 - 26 = 17</math></li> <li>・ <math>17</math> (答え) + <math>26</math> (ひく数) = <math>43</math> (ひかれる数)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ひき算の答えにひく数をたすと、ひかれる数になる。ひき算の答えはたし算で確かめることができる。</div>	<p>【予習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2位数－2位数の立式、計算</li> <li>○ 答えとひく数を合わせた数はどんな数</li> </ul>
たしかめる (理解確認)	<p>2 習得した考えを使って練習問題を解き、加法と減法の相互関係について理解し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1] ひき算とその答えの確かめ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>① <math>87 - 45</math></p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 2px;"><math>87</math></div> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 2px;"><math>-45</math></div> <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 2px;"><math>42</math> </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;確かめ&gt;</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 2px;"><math>42</math></div> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 2px;"><math>+45</math></div> <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 2px;"><math>87</math> </div> </div> <p>② <math>28 - 19</math>                      ③ <math>43 - 9</math></p> </div> <p>○ 求め方をペアで説明し合い、全体で確認し合う。</p> </div></div>	<p>【困難度査定】</p> <p>◇ ひく数、答え、ひかれる数の関係につまずく児童がいることが予想される。</p> <p>○ 加法と減法が逆の関係になっていることを視覚的に捉えることができるように、言葉カードに色をつけたり線でつないだりする。</p> <p>○ ひき算の答えの確かめを確実に理解させるために、ひき算の答え、ひく数、ひかれる数という言葉を使って、筆算を指さしながら説明する活動を位置づける。</p>
ふかめる (理解深化)	<p>3 思考を深める問題を解き、考えを交流し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>2] ひき算の答えの確かめになるたし算カードを選ぶ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>① <math>74 - 21</math></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>74</math></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>-21</math></div> <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>53</math> </div> <div style="text-align: center;"> <p>② <math>53 - 18</math></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>53</math></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>-18</math></div> <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>35</math> </div> <div style="text-align: center;"> <p>③ <math>41 - 39</math></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>41</math></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>-39</math></div> <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>2</math> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>53 + 21</math></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>35 + 18</math></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>2 + 39</math></div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>21 + 74</math></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><math>41 + 2</math></div> </div> </div> <p>○ 解くための方法をペアで話し合い、自力解決する。</p> </div></div></div>	<p>※ ひき算の答えにひく数をたすとひかれる数になることを説明することができる。</p> <p>○ 答え、ひく数、ひかれる数の関係をとらえさせるために、【逆思考】の問題を設定する。</p> <p>○ 自力解決できるように、ペアで解き方の見通しをもつ話す活動を位置づける。</p>
振り返る (自己評価)	<p>4 本時学習を振り返り、「わかったことや難しかったこと」を明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひき算の答えとひく数を足したらひかれる数になると分かり、答えのたしかめをすることができた。</li> </ul> <p>○ 次時の予習内容を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【予習】まとめとしていろいろな練習問題を解いていきましょう。</div>	<p>○ 理解状況を把握するために、振り返りをノートに書かせるようにする。</p> <p>○ 次時の予習内容を確認し、解き方の見通しをもたせる。</p>